



2013年8月11日、お昼前後2時間ほどの釣果。18cm前後の釣りころ、食べごろのアユがよく掛かった



点在する大きな石の上や岩盤の周辺に多くのアユの姿を簡単に見つけることができる。放流アユだけでなく本流・紀ノ川からの遡上も多い



岩盤に大小の石が絡む迎の辻橋周辺のポイント。いくつもの流れがあるので、ひとつひとつ丁寧に探っていく

複合メタルの泳がせ釣りで

玉川峡(丹生川)は霊峰高野山の麓、摩尼川を源流として大小の岩と岩盤が織りなす渓谷相の川。奇石と大小の滝が多く、県の名勝にも指定される。伊都郡九度山町付近で紀ノ川に流れ込む全長約24kmの支流である。

そのうちアユ釣りが普通にできるのは玉川漁協管轄の最下流部(関西電力堰堤跡)から約20km。それより上流部は川幅も非常に狭く入りし難い場所になる。

近畿圏はもとより和歌山県内の人にも案外知られていない釣り場の1つであるが、この川でないとダメという釣り人も少なくない。理由は美しい景観と綺麗な水、綺麗なアユがいるからだ。水量はさほどではないが上流部から下

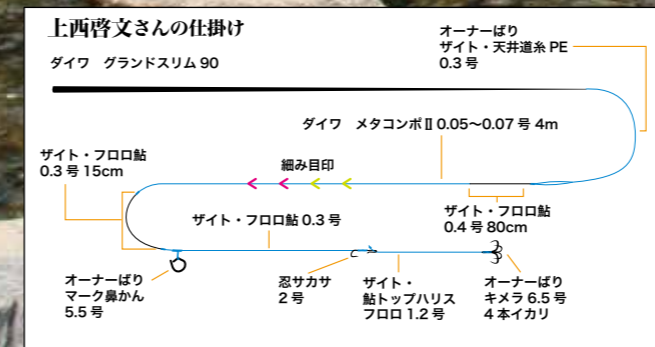
奇岩の連続！紀ノ川から天然遡上もある渓谷相の川

玉川峡

(丹生川)

九度山から高野山に向かう道を途中で逸れて河根方面に上っていく道路沿いを流れているのが玉川峡と呼ばれる丹生川。都会から近く景色もよいため行楽客の多さは半端ではないがアユも人慣れしているという

解説◎上西啓文



流部まで、たまにトロ場がある程度で岩盤、大岩、大小の石が入った段々瀬が続く。湖産を中心に海産、人工産約1000kgの稚魚放流に加え、紀ノ川からの天然遡上もある。

釣れるアユのサイズは最大で25cmくらいだが盛期の増水後は良型がよく掛かる。川幅は狭くサオは9mが振れる場所もあるが、周りの立木や枝を考えると6.5mのものが最適と思われる。初期は細イドでもよいが盛期になると型もよくなりアタリも強くなるため、掛かった瞬間に大岩や石に触れて切れることが多い。泳がせ、引き釣りの両方ができて摩擦にも強い複合メタルがベストだろう。ハリスは渓谷相なので根掛かりを考えるとキツネタイプが好ましいが、ストレートタイプを使用するのであればハリスを少し硬めのものにしておくことだ。

オトリ店は流域に3軒。なかにはキャンプ場を兼ねて営業しているところもある。道路から川に下りやすいためキャンプやバーベキューなどの行楽客が非常に多く、特に夏休みは車の通行にも苦労するほど。

簡単に川に下りられるところは行楽客が多いので、アユ釣りは必然的に入川の難しい場所となる。人込みを避けての釣りになる人が多いためアユもかえって人慣れし、人が泳いでいる近くでもあまり逃げずにいることがある。濁水時に川を渡ってもすぐ元の場所に戻ってくるので、静かに釣っている場合は案外よく掛かる。

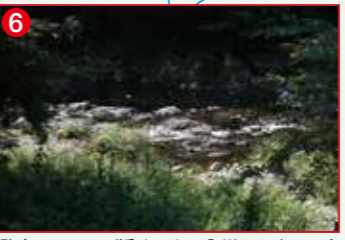
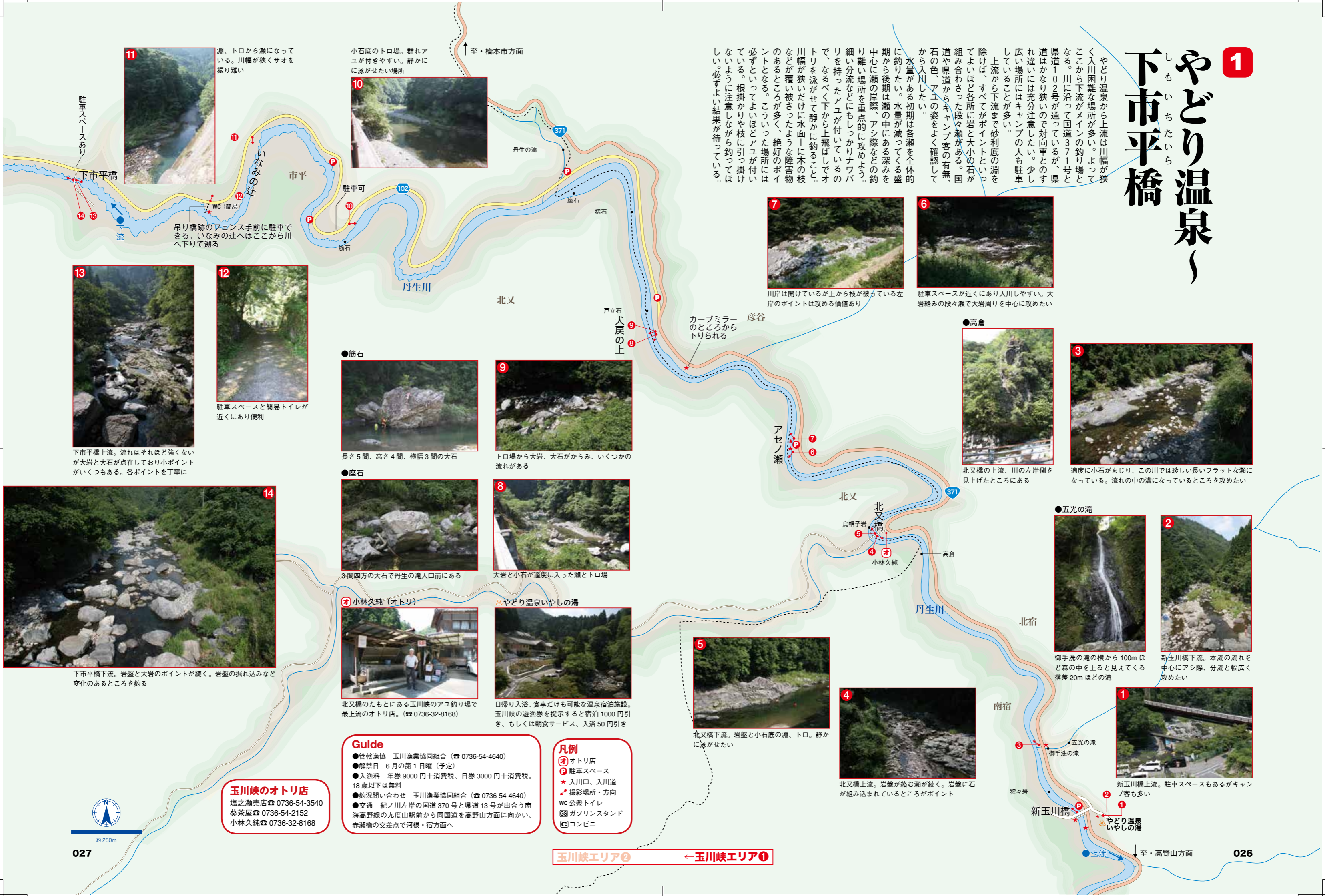
気を付けてもらいたいのは道路の状況。2014年1月現在、前年の水害での崩落等により道路が寸断されている場所があるが、予定では6月ぐらいには復旧されるらしい。念のため釣行前に漁協に問い合わせしてほしい。

やどり温泉 下市平橋

やどり温泉から上流は川幅が狭く入川困難な場所が多い。よってここから下流がメインの釣り場となる。川に沿って国道371号と県道102号が通っているが、県道はかなり狭いので対向車とのすれ違いには充分注意したい。少し広い場所にはキャンプの人も駐車していることが多い。

上流から下流まで砂利底の淵を除けば、すべてがポイントといつてよいほど各所に岩と大小の石が組み合わさった段々瀬がある。国道や県道からキャンプ客の有無、石の色、アユの姿をよく確認してから入川したい。

水量がある初期は各瀬を全体的に釣りたい。水量が減ってくる盛期から後期は瀬の中にある深みを中心に瀬の岸際、アシ際などの釣り難い場所を重点的に攻めよう。細い分流などにもしっかりとナワバリを持ったアユが付いているので、なるべく下から上飛ばしでオトリを泳がせて静かに釣ること。川幅が狭いだけに水面上に木の枝などが覆い被さったような障害物のあるところが多く、絶好のポイントとなる。こういった場所には必ずといってよいほどアユが付いている。根掛かりや枝に引っ掛けないように注意しながら釣ってほしい。必ずよい結果が待っている。



Guide

- 管轄漁協 玉川漁業協同組合 (☎0736-54-4640)
- 解禁日 6月の第1日曜(予定)
- 入漁料 年券9000円+消費税、日券3000円+消費税。18歳以下は無料
- 釣況問い合わせ 玉川漁業協同組合 (☎0736-54-4640)
- 交通 紀ノ川左岸の国道370号と県道13号が出会う南海高野線の九度山駅前から同国道を高野山方面に向かい、赤瀬橋の交差点で河根・宿方面へ

凡例

- ☎ オトリ店
- 🅐 駐車スペース
- ★ 入川口、入川道
- 📷 撮影場所・方向
- 🚻 WC 公衆トイレ
- 📍 ガソリンスタンド
- 🏪 コンビニ

玉川峡のオトリ店
 塩之瀬売店 ☎0736-54-3540
 葵茶屋 ☎0736-54-2152
 小林久純 ☎0736-32-8168



玉川峡エリア② ← 玉川峡エリア①



塩瀬橋上流。瀬の上下にアユの補給基地になるト口場や瀬がありト口場上流の瀬が好ポイント



塩瀬橋下流。キャンプ場が近いのでト口場の瀬がよい



よい石が入っているト口場だが、ここもキャンプ客が多い。人がいない時に攻めたいポイント



キャンプ場の下なのでキャンプ客が多い。右岸のアシ原が好ポイントで左岸から攻めたい



通称・福岡さん宅下。長い瀬があり有名なポイント。川幅も広く9mクラスのサオでも充分振れる



ト口場下流の瀬がメインポイント



駐車スペースがありキャンプ客が多い。ト口場へ流れ込む



迎の辻橋上流。大岩、大石がたくさんあり、いくつもの流れの筋ができていい好場所



迎の辻橋下流。川までの道があり下流がト口場になっているのでキャンプのお客さんも多い。ト口場の上から橋の下までの流れがよい



短い流れのヒラキにアユが溜まるが、覆い被さる枝に気を付けたい



御陵橋上流。流れの幅は狭いが溝になっている変化点をねらいたい



御陵橋下流。ト口場から小石底と大石の瀬肩があり、その下流が瀬になっている数が出そうなおポイント



●枳石
十丈(10尺)四方、いかにも枳に見える大石



塩之瀬売店(オトリ)
九度山から上ってくると最初にあるオトリ店でキャンプ場を併設している。(☎ 0736-54-3540)



●どーむびれっじキャンプ場
バンガロー、テント泊、日帰りキャンプ、バーベキューが楽しめるキャンプ場



●葵茶屋(オトリ)
気さくな女将さんが切り盛りするオトリ店でもキャンプ場を併設している。(☎ 0736-54-2152)



●農林総合研修センター さえもん
地元農林産物、山菜、木工製品、キャンプ用品などの販売のほか喫茶、軽食のレストランも営業している



川までの道があり入川しやすいが、キャンプ客が多いのでこの前後の瀬がよい



ト口場下流の大岩まじりの流れがポイント



小石底のト口場からの流れ込み上流がよい。キャンプ客が多い



●季節の味処 鳴神 / Cafe お伽噺
急な坂道を徒歩で上ったところにある古民家を利用した料理屋さん兼カフェがある

枳石から下流はアユも多く川幅も広い場所が多い。9mのサオを振れるポイントもあるし上流部にくらべフラットな流れも多い。そのため群れアユも多く見られる。盛期から後期の渇水期になると、特にその傾向が強まっていくのは他の放流河川と同じである。大岩や石がある瀬にはアユがよく付いている。
特にこのエリアにはキャンプ場がいくつもあるので、他の河川で見られないほどの行楽客が川に入る。よって盛期になるとアユも人慣れをして、人が泳いでいても気にせず腹を返してアユを食んでいる。だから釣り人が近づいて一旦は散ったアユも、少し静かにしていれば元の場所に戻ってくることも多い。
渇水になるとチャラ瀬も多くなり、その中の溝になっているところやアシ原に群れアユが溜まりやすい。元気なオトリを泳がせると同じポイントで数が稼げる。掛かった瞬間に群れアユは散るが、長いト口場とは違いアユは戻ってくる。とにかく養殖オトリを天然にチェンジすることが先決だ。
渇水からの増水時には必ずよい釣果が出る。普段から水量が少ない場所では増水時に特に活性が上がる。そんな時を選んで釣行できれば最高だ。

2 枳石の塩瀬橋